

データ編

環境経営範囲：大正製薬の国内の全事業所（本社、5支店、その傘下の3事業所、5物流センター、3工場、総合研究所など）とグループ会社のうち、大正富山医薬品、目白興産、大正製薬物流サービスの3社を環境経営の範囲としています。ただし、大正富山医薬品に関しては支店傘下のオフィスは含めていません。

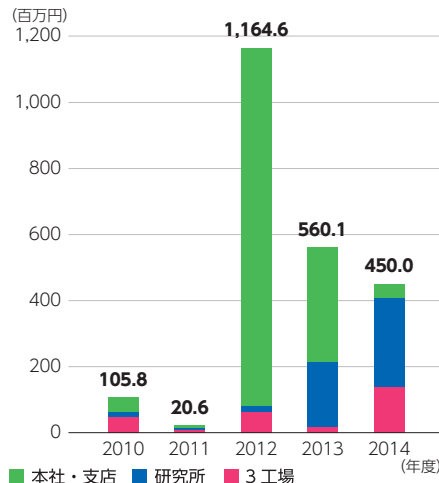
環境会計

環境会計の集計にあたっては、環境省の「環境会計ガイドライン(2002年版)」を参考として「大正製薬環境会計作成手順書(第2版)」に従って算出しました。【対象期間:2014年4月1日～2015年3月31日】

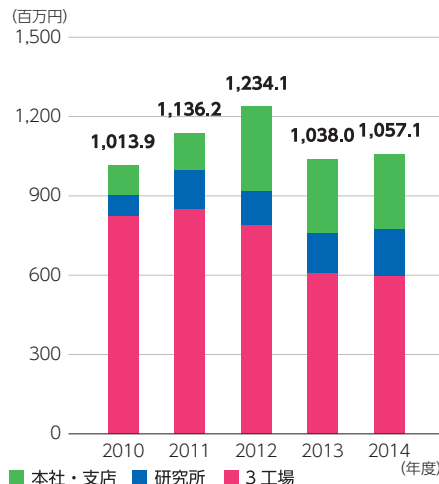
環境保全コスト

分類	主な取り組み項目	投資額(百万円)	費用額(百万円)	
事業エリア内コスト		447	796	
内訳	公害防止コスト	排水処理設備の運転・管理／大気汚染防止対策	241	245
	地球環境保全コスト	省エネルギー対応・設備導入／コージェネレーションシステムの運転・管理	207	317
	資源循環コスト	リサイクルの推進／廃棄物処理	0	234
上・下流コスト	容器包装再商品化委託料／廃製品の処理	0	167	
管理活動コスト	環境負荷の監視／ISO14001の維持・運用	3	73	
研究開発コスト	製品の環境対応に伴う研究開発／研究原材料の購入	0	0	
社会活動コスト	業界団体の活動費、寄付金	0	0	
環境損傷対応コスト	土壌・地下水汚染対策	0	20	
合計		450	1,057	

投資額



費用額



環境保全効果

主な取り組み項目		2013年度	2014年度	削減量	削減率(%)	
事業エリア内コストに対応する環境保全効果(投入資源)	総エネルギー投入量(千GJ)	1,252	1,213	▲40	▲3.2	
	内訳	電気使用量(万kWh)	6,824	6,650	▲174	▲2.5
		都市ガス使用量(千m³)	7,845	7,696	▲149	▲1.9
		A重油使用量(kL)	1,312	1,261	▲51	▲3.9
		LPG使用量(m³)	1,005	949	▲56	▲5.6
		ガソリン使用量(kL)	1,890	1,741	▲149	▲7.9
		軽油使用量(kL)	2,712	2,492	▲220	▲8.1
	用水投入量(千m³)	886	824	▲62	▲6.9	
	内訳	地下水使用量	590	531	▲59	▲10.0
		上水道水(生活用水)使用量	271	270	▲1	▲0.4
工業用水使用量		20	20	▲1	▲2.5	
中水(雨水)使用量		5	4	▲1	▲20.2	
特定化学物質*取引量(トン)	283	212	▲71	▲25.1		
事業エリア内コストに対応する環境保全効果(排出)	二酸化炭素排出量(トン)	58,892	56,835	▲2,057	▲3.5	
	内訳	生産・事務活動からの排出量	47,505	46,364	▲1,141	▲2.4
		営業・物流活動からの排出量	11,387	10,471	▲916	▲8.0
	廃棄物総排出量(トン)	6,224	5,377	▲847	▲13.6	
	最終埋立処分量(トン)	19	14	▲5	▲26.3	
	総排水量(千m³)	602	478	▲124	▲20.6	

* 化学物質排出把握管理促進法に基づく

環境保全コストに伴う経済効果

効果の内容	金額(百万円)	
収益	リサイクルに伴う経済収入	1.8
費用削減	省エネルギーによる費用の削減	3.5
合計		5.3

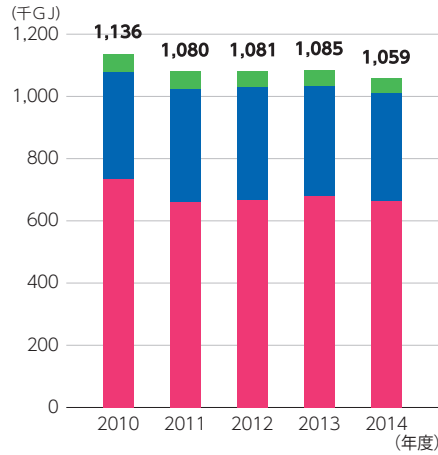
項目	金額(百万円)
当該期間の投資額の総額	5,253
当該期間の研究開発費の総額	21,554



資源投入量

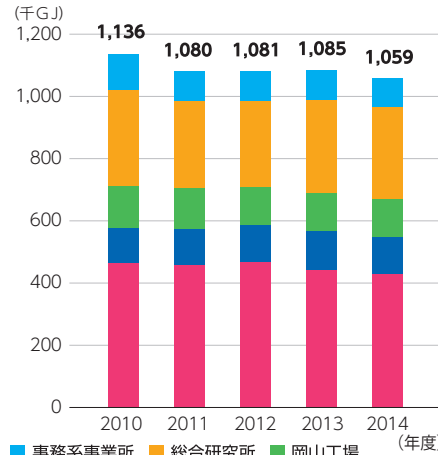
エネルギー

●エネルギー種類別



■ 燃料油(A重油+灯油) ■ ガス(都市ガス+LPG) ■ 電気

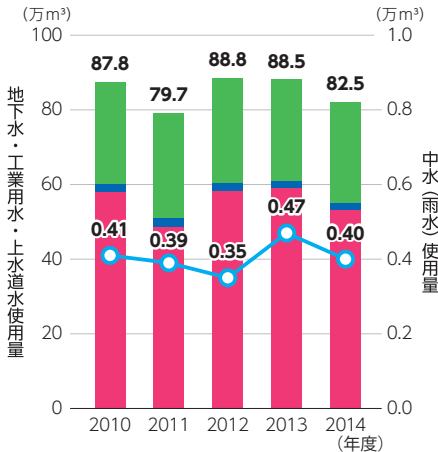
●事業所別



■ 事務系事業所 ■ 総合研究所 ■ 岡山工場 ■ 羽生工場 ■ 大宮工場

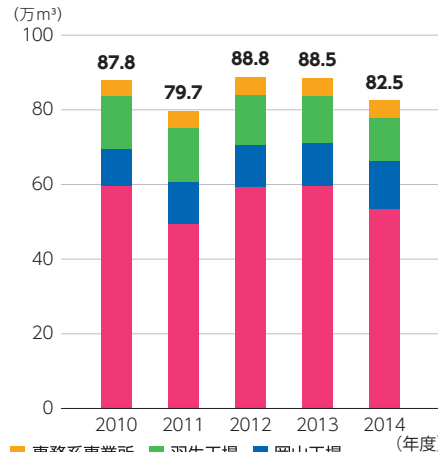
水

●水使用量(種類別)



■ 上水道水 ■ 工業用水 ■ 地下水 ○ 中水(雨水)

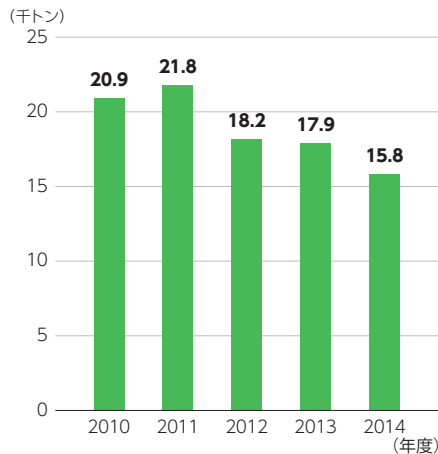
●水使用量(事業所別)



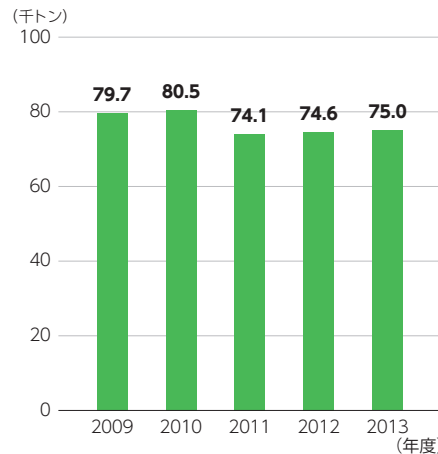
■ 事務系事業所 ■ 総合研究所 ■ 岡山工場 ■ 羽生工場 ■ 大宮工場(総合研究所含む)

原材料

●原料使用量

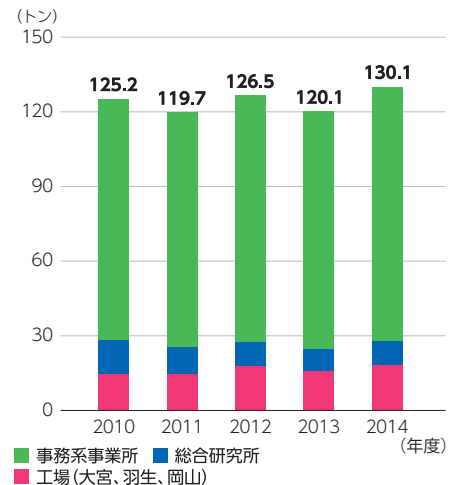


●材料使用量(容器包装リサイクル法対象の4素材)



コピー用紙

●コピー用紙購入量



■ 事務系事業所 ■ 総合研究所 ■ 工場(大宮、羽生、岡山)

化学物質

■化学物質排出把握管理促進法に基づく化学物質の取扱・排出・移動量 大宮工場(総合研究所含む)

No.	化学物質	政令番号	取扱量	大気への排出量	公共用水への排出量	下水道への移動量	土壌への排出量	除去処理量	廃棄物への移動量
1	アセトニトリル	013	200,000	37	0	1,600	0	0	200,000
2	クロロホルム	127	7,000	7.6	0	120	0	0	6,400
3	トルエン	300	1,200	13	0	0.7	0	0	830
4	ノルマルヘキサン	392	3,700	19	0	3.5	0	0	3,500

(単位:kg)

■さいたま市生活環境の保全に関する条例(第74条2項)に基づく特定化学物質の取扱量 大宮工場(総合研究所含む)

No.	化学物質	特定化学物質の区分	取扱量	取扱量の内訳		
				使用量	製造量	取り扱用量
5	N、N-ジメチルホルムアミド	第一種指定化学物質(第232号)	500	500	0	0
6	塩化水素(塩酸を含む)	その他の特定化学物質(第5号)	7,900	7,900	0	0
7	ジエタノールアミン	その他の特定化学物質(第14号)	2,700	2,700	0	0
8	テトラヒドロフラン	その他の特定化学物質(第21号)	130,000	130,000	0	0
9	メタノール	その他の特定化学物質(第30号)	41,000	41,000	0	0
10	ヨウ化メチル	その他の特定化学物質(第34号)	13,000	13,000	0	0

1~4は化学物質排出把握管理促進法に基づく届出と共通

(単位:kg)

■埼玉県生活環境保全条例に基づく特定化学物質の取扱量 羽生工場

No.	化学物質	特定化学物質の区分	取扱量	取扱量の内訳		
				使用量	製造量	取り扱用量
1	塩化水素(塩酸を含む)	その他の特定化学物質(第5号)	15,000	15,000	0	0

(単位:kg)

各種排出量

二酸化炭素排出量の算出に使用している係数

電気：0.386kgCO₂/kWh

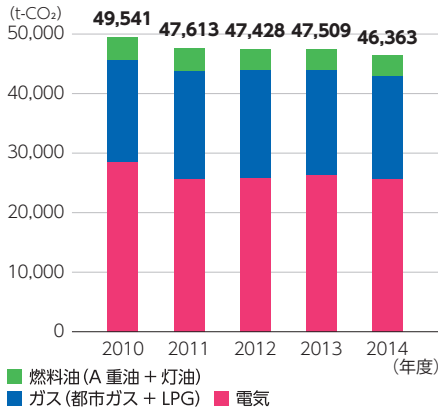
都市ガス：2.244kgCO₂/Nm³、LPG：2.999kgCO₂/kg、A重油：2.710kgCO₂/L

灯油：2.489kgCO₂/L、ガソリン：2.322kgCO₂/L、軽油：2.585kgCO₂/L

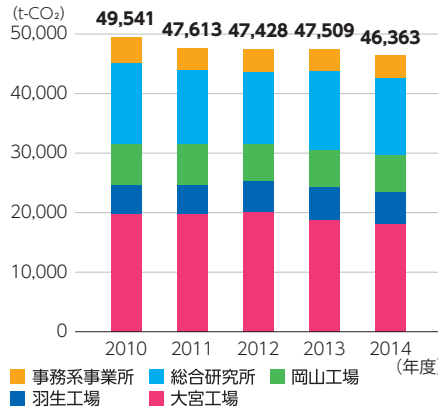
(埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく「2011年3月 地球温暖化対策計画制度および目標設定型排出量取引制度におけるエネルギー起源CO₂排出量算定ガイドライン」による)

二酸化炭素

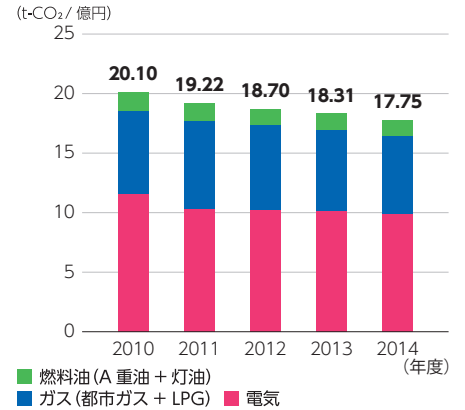
総排出量～全社(エネルギー種類別)



総排出量～全社(事業所別)

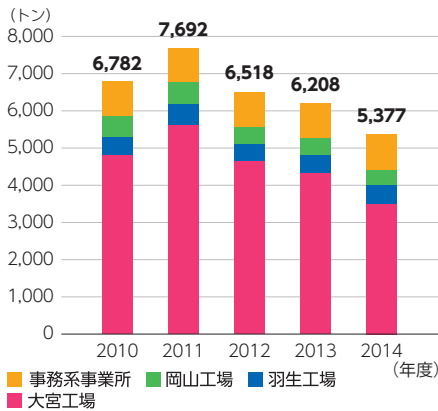


排出原単位～全社(エネルギー種類別)

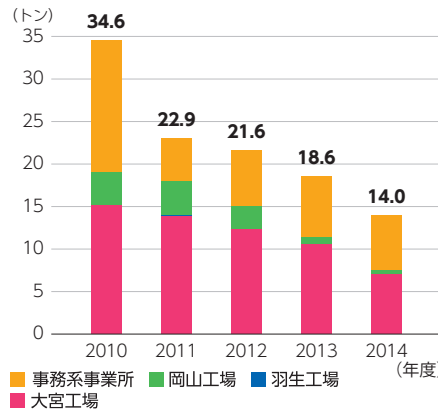


廃棄物(大宮工場には総合研究所を含む)

総排出量～全社(事業所別)

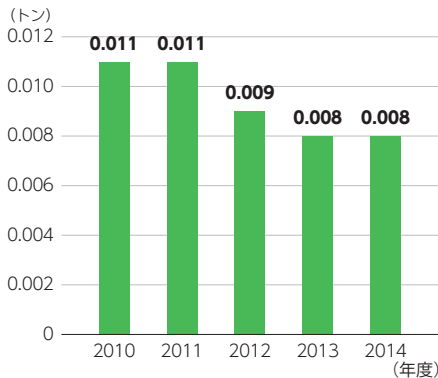


最終埋立処分量～全社(事業所別)

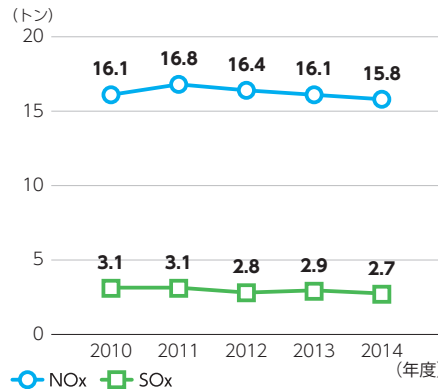


大気への排出

クロロホルム～生産部門



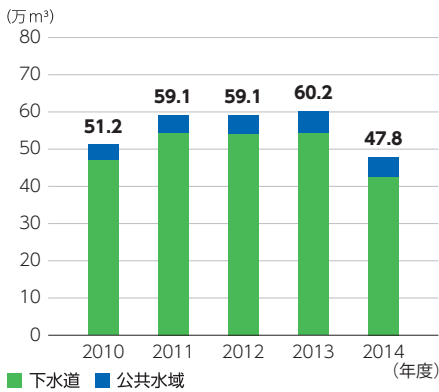
NOx、SOx排出量～生産・研究



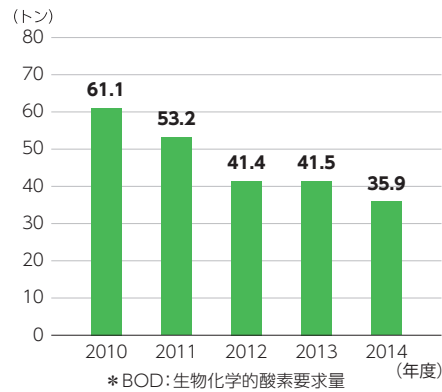


■水質関連

総排水量～全社



BOD*排出量～生産・研究



■PCB廃棄物

PCB廃棄物および現在使用中のPCB使用機器

	保管量	使用中の機器
試薬	6.6g	—
低圧コンデンサ	2台	—
高圧コンデンサ	35台	—
蛍光灯安定器	1,287台	—
水銀灯安定器	9台	—
高圧トランス	—	11台

■販売・輸送関連データ

ガソリン、軽油使用量から二酸化炭素、NOx排出量を算出するための換算係数

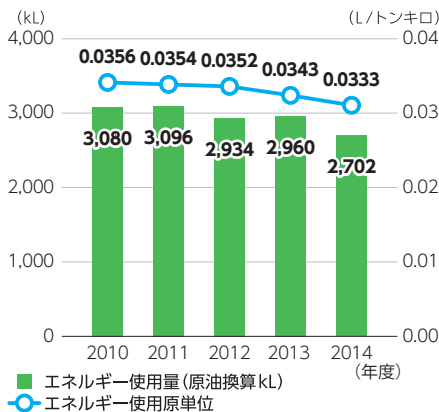
【二酸化炭素排出量】ガソリン：2.322kgCO₂/L、軽油：2.585kgCO₂/L

(埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく「2011年3月 地球温暖化対策計画制度および目標設定型排出量取引制度におけるエネルギー起源CO₂排出量算定ガイドライン」による)

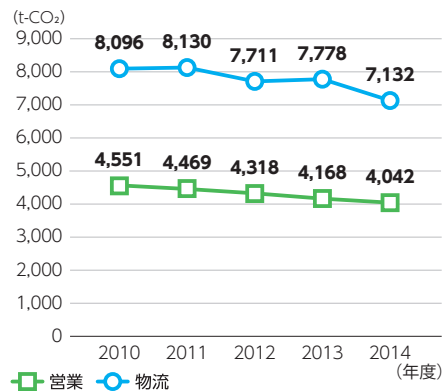
【NOx排出量】ガソリン：8.2kg/kL、軽油18.3kg/kL

(「2001年3月 環境活動評価プログラム エコアクション21」による)

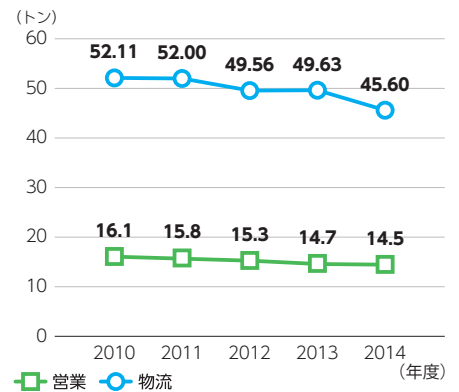
輸送に関わるエネルギー使用量および原単位



販売・輸送などに関わる二酸化炭素排出量

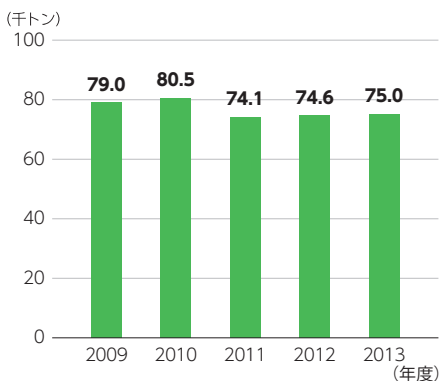


販売・輸送などに関わるNOx排出量



■容器包装リサイクル法関連データ

特定容器包装総重量



各事業所のデータ

■2014年度規制項目の測定結果

●大宮工場(総合研究所含む)

実績値		基準値	実績値
大気	NOx	貫流ボイラー	57~84ppm
		水管ボイラー	66~94ppm
		吸収式冷温水発生機	16~36ppm
		ガスタービン	17~20ppm
水質	水素イオン濃度	5超~9未満	6.4~8.5
	生物化学的酸素要求量	600mg/L未満	2~267mg/L
	浮遊物質量	600mg/L未満	4~96mg/L
	窒素含有量	240mg/L未満	1.7~11mg/L
	燐含有量	32mg/L未満	0.4~2.1mg/L

●羽生工場

規制項目		基準値	実績値
大気	NOx	—	28~36ppm
	ばいじん	—	—
水質	水素イオン濃度	5.8以上~8.6以下	6.9~7.3
	生物化学的酸素要求量	25mg/L未満	<1mg/L
	浮遊物質量	60mg/L未満	<2mg/L
	窒素含有量	120mg/L未満	0.8~4.4mg/L
	燐含有量	16mg/L未満	<0.1~0.1mg/L

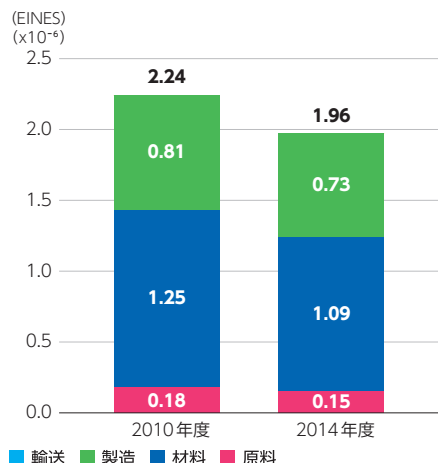
●岡山工場

規制項目		基準値	実績値
大気	NOx	—	55~82ppm
	ばいじん	—	0.001~0.002g/m ³ N
水質	水素イオン濃度	5超~9未満	5.8~7.0
	生物化学的酸素要求量	600mg/L未満	20~310mg/L
	浮遊物質量	600mg/L未満	3.4~24mg/L
	窒素含有量	240mg/L未満	—
	燐含有量	32mg/L未満	—

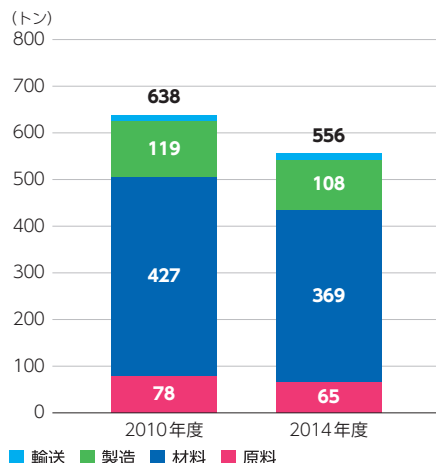


生物多様性等への影響評価

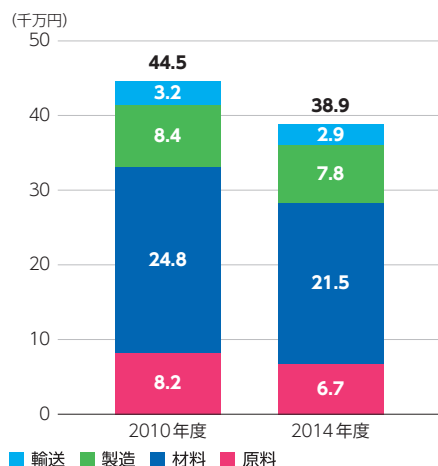
生物多様性



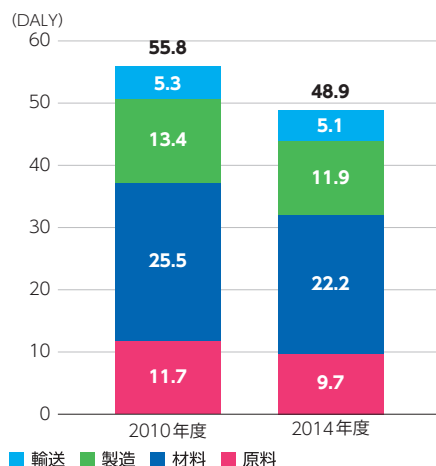
一次生産



社会生産



人間健康



海外生産子会社データ(参考)

		マレーシア大正	上海大正	ベトナム大正	大正製薬インドネシア
エネルギー 使用量	電気(kWh)	593,045	877,900	485,520	2,715,332
	重油(kL)	—	—	0	—
	軽油(kL)	—	256	2.05	8
	LPG(m ³)	—	—	4.63	184
	都市ガス(m ³)	64,464	—	—	135,783
	木質ペレット(トン)	—	—	288	—
廃棄物 排出量	再生利用量(トン)	—	27	9.95	0
	焼却処理量(トン)	—	—	1.6	37
	埋立処分量(トン)	2	20	0	0
排水水質	化学的酸素要求量(mg/L)	8~40	—	44~49	44~119
	生物化学的酸素要求量(mg/L)	2~9	—	22~29	13~58